

平成 21 年第 1 回技術委員会を 6 月 5 日(金) 14:30~17:00、松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室にて開催した。委員会の参加は 20 名(委員 13 名、他 7 名)であった。討議内容について以下にまとめて示す。

1. 話題提供について

『大舟木地すべりについて』 基礎地盤コンサルタンツ(株)北海道支社 橋本 勝 氏
話題となった地すべりは山形県西村山郡に位置する幅約 90m、延長約 140m の地すべりで、融雪を原因として滑動した。なお、当地は上部も含め地すべり地帯で、古文書では“江戸時代に川を埋めた”記録もあるらしい。地すべり対策事業は、保全対象が県道、直轄河川、農地であるため、3つの関係機関が関わって事業を実施しており、それぞれ調整を行いながらの事業遂行に通常と異なる労力を要したことが感じ取れた。

地すべり対策工は、集水井工、抑止杭工、アンカー工、EPS、河川護岸など多彩で、これらを農地復旧、道路復旧、河川復旧の各目的に必要な安全率を調整・確保しながら検討がなされており、対策工法、検討内容とも非常に興味深い内容であった。



写真-1 委員会状況

2. 今後の活動計画について

委員会の開催は例年通り、年 3 回(6 月、11 月、2 月)を目標に計画する。活動計画は基本的にはこれまで同様、地すべりに関する調査技術・対策工法等に関する話題提供を行うとともに、以下の 3 つのテーマについて、調査・研究を行い、成果を報告する。

- ①地すべり調査・設計・対策技術に関するアンケート
- ②地すべり技術に関する Q&A
- ③地すべり粘土に関する研究

3. 委員会より参加者の募集

当日、一般で参加していただいた 3 名について、委員としての参加を打診し合意いただきました。

技術委員会は現在、上記 3 名を含めて有志 34 名で構成され、地すべりに関する調査・解析、設計・施工などの研究、討論を活発に行っております。技術委員会の活動に興味があり、委員としての参加を希望なされる方は、下記連絡先まで FAX 又は E-mail にてご一報ください。また、本委員会は毎年 3 回以上の実施を目標とし企画を行っております。委員会は委員以外の方でも参加は自由ですので、数多くの方のご参加をお待ちしております。

[北海道地すべり学会 技術委員会 事務局]

連絡先：株式会社シビテック 防災地質部 柴田 純

TEL 011-816-3004 FAX 011-816-2563

E-mail j.shibata@civitec.co.jp